

政策形成システム「福井県職員政策フォーラム」の活用

福井県

人口：818,443 人

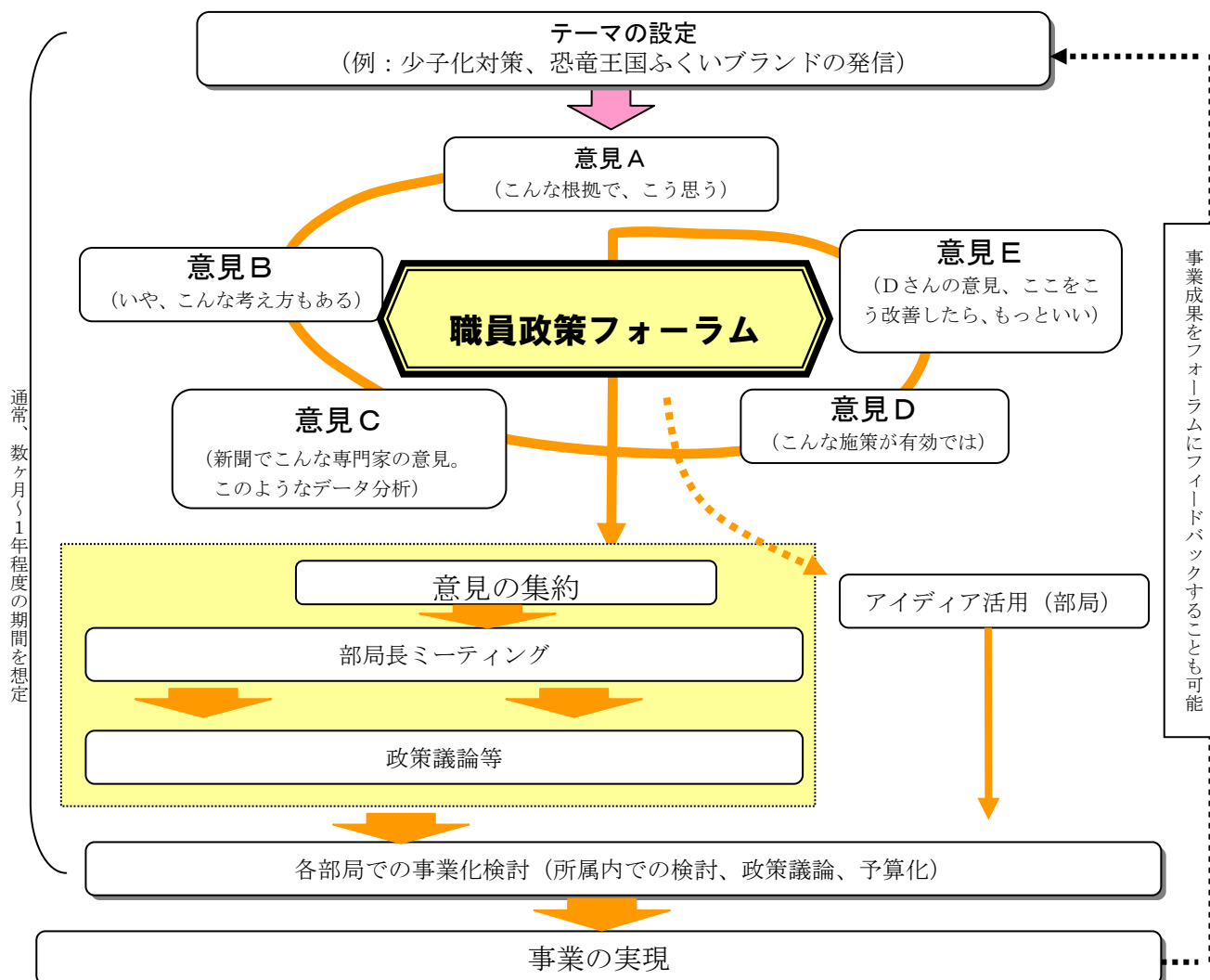
面積：4,189.27 km²

平成18年度事例集、5項 No7 掲載事例

取組の概要

庁内ネットワークシステムを活用し、全職員が所属や役職等にとらわれることなく、自由にアイデアを出し、議論できる政策形成システム「福井県職員政策フォーラム」を活用し、新しいアイデアを施策に反映している。

【「職員政策フォーラム」のシステム概要】



取組の紹介

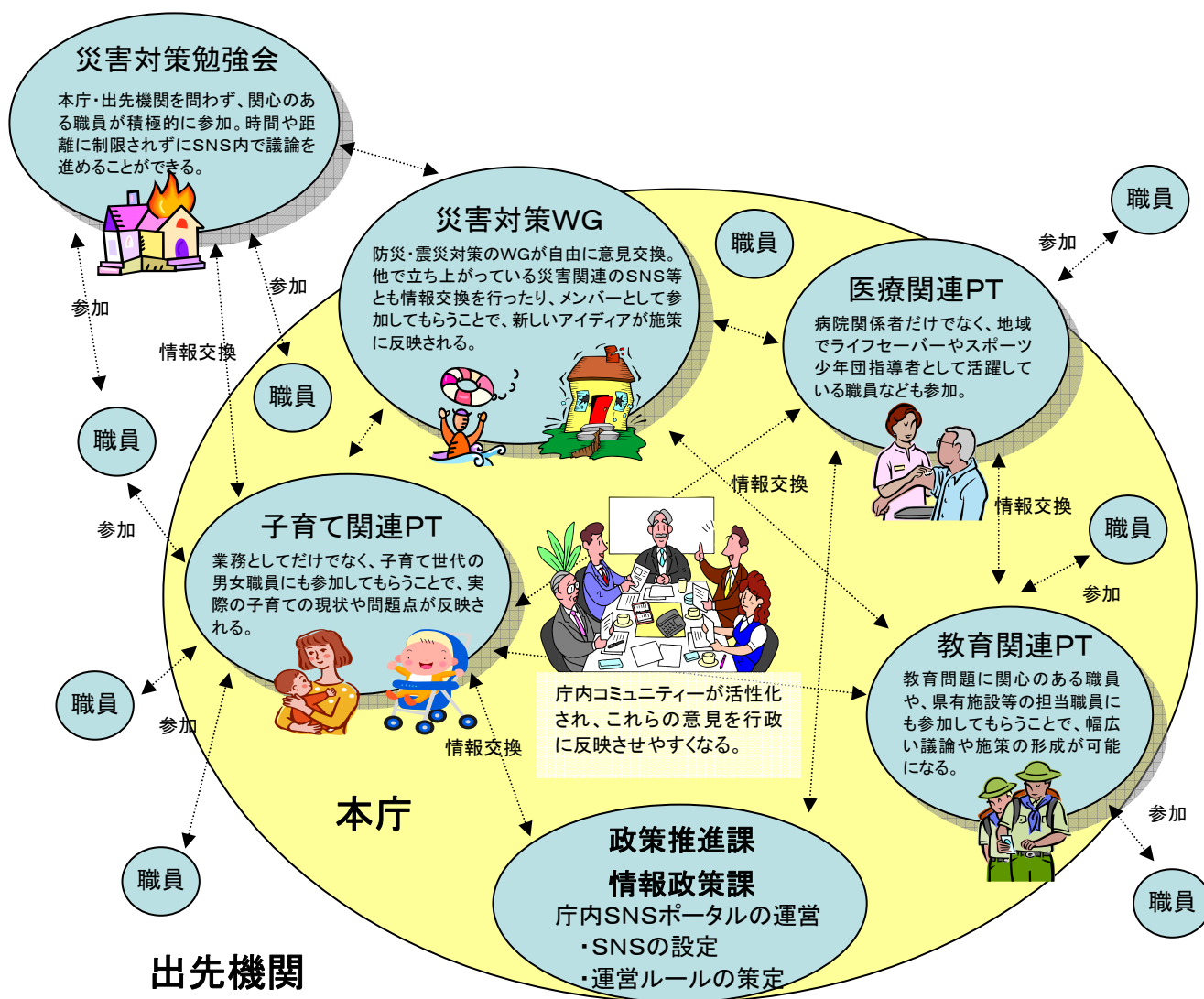
1 その後の状況

- フォーラムの開始から1年が経過し、意見の具体的な事業等への反映等、一定の成果を得てきた。
- 10月25日からは、本格的なSNS（ソーシャルネットワーキングサイト）としてシステムの変更を実施。新たなアイデアや専門知識の相互提供、活発な意見交換を行い、所属間の垣根を越えた施策や業務改善につながることを期待している。

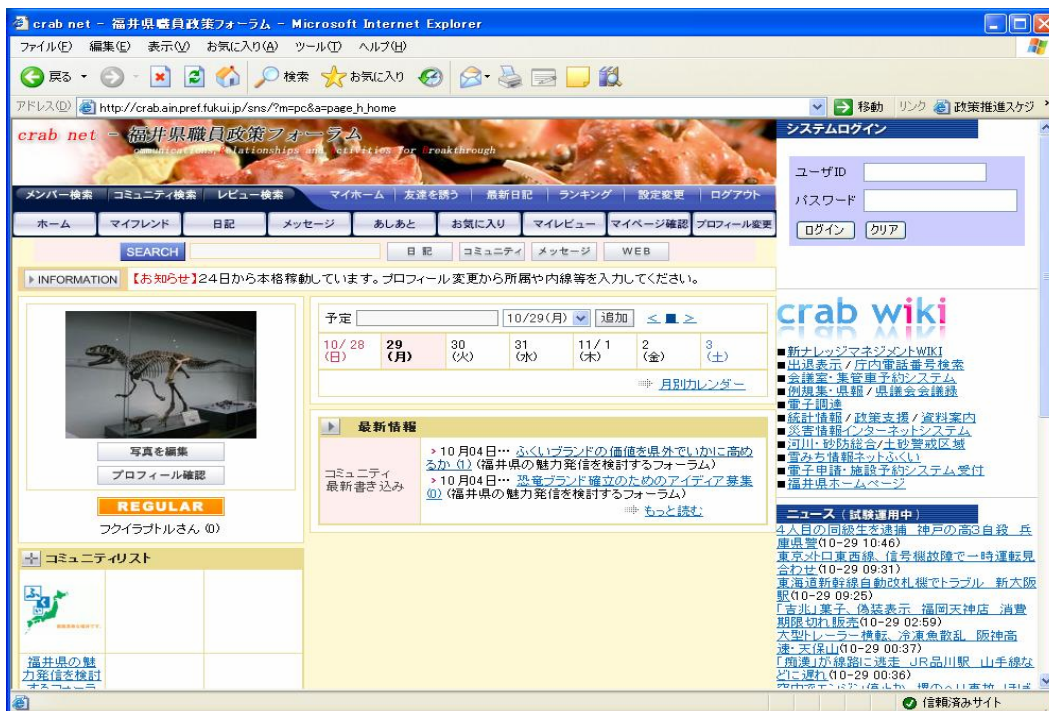
【庁内SNSイメージ図】

■部局横断型のプロジェクトや有志による勉強会単位でのコミュニティ

所属や本庁・出先の枠を超えて参加することで、新しいアイデアや職員の専門知識（過去の業務実績や個人的な知識も含む）が施策に反映しやすくなる。



【庁内SNSのトップページ】



2 前回からの取組効果

- 平成 18 年 7 月 5 日庁内 LAN の職員ポータル上に掲載。平成 19 年 10 月 1 日現在で約 200,000 ページビュー（アクセス）。多くの建設的な意見が寄せられている。
- 特に、最近、民間会社の恐竜ゲームカードの発売や環境省の「チームマイナス 6 %」関連のグッズを開発したことが話題となったが、こうした「恐竜」を活用したブランド推進の施策は、「恐竜王国ふくいのブランド発信」というテーマの中で、職員から出てきた様々なアイディアもヒントにしながらか具体化してきたものである。

3 新たな課題・問題点

- 提言された意見等を集約し施策化するための手法が統一されておらず、テーマ設定者および所属によって扱いが異なるという問題点があったため、今回、システムを SNS（ソーシャルネットワーキング）として進化させ、テーマごとに責任の所在が明確になるような仕組みへと発展させた。

4 住民（職員）の反応・評価

- コミュニティと呼ばれる機能により、政策テーマごとに職員を限定して議論が可能となり、公開・非公開の選択、ワード・エクセル等のファイル添付も可能であるため、時間にとらわれない意見の交換・集約が可能となった。

- 職員認証によりシステム利用を行うため、意見全てに職員の名前が表示され、責任ある発言へとつながった。
- システムが若干複雑化したため、操作に慣れない職員等への配慮が必要。

5 今後取り組む自治体に向けた助言

- 予算をかけずに迅速に対応できることは意外に数多くあり、このような取組もその一つであると思われる。これまで、住民向けサービスと思われてきたSNSを、業務として利用することで、場所や時間の制約からの解放、役職にとらわれない内容重視のフォーラムの実現が可能となる。

担当部署：政策推進課